

環境コンシェルジュ事業

～ お宅の温暖化対策、環境コンシェルジュにお任せください～

Q. 環境コンシェルジュって何なの？何してくれるの？

A. 環境コンシェルジュとは、**各家庭のCO2削減の専門家**です。簡単なアンケートだけで、**無料**でお宅の**CO2削減と光熱費削減のご提案**をします。

Q. 環境コンシェルジュって、どんな人になるの？怪しい押し売りじゃないの？

A. 温暖化問題に詳しい中立性の高い専門家を養成し、偏った情報を提供しないようにします。また、診断の時には、**個別の商品までは奨めませんし、個人のプライバシーは守ります。**

Q. それって私たちにとってメリットがあるの？

A. ご提案した対策に取り組んでいただくと、**CO2が3割近く下がりますし、ご家庭によっては光熱費も最大で半額以下**になります。エコリースを使えば、**頭金なしでエコ商品が導入**いただけます。

Q. 難しいことしないといけないんじゃない？

A. 日々のちょっとした取組から家電の買換の時のエコ商品の選択まで、**お宅の状況や事情に合わせて、相談しながらご提案**させていただきます。面倒な光熱費の比較など私たちにお任せ下さい。

じゃあ、一度相談してみようかしら！

お宅のエコ度を診断します～Aさんの場合～

Step 1 診断、分析

診断支援ツール画面イメージ



図1.CO2排出の平均比較とランキング

Step 2 対策選択



図2.効果的な対策の選択

Step 3 支援

- ・住宅用太陽光発電：21万円補助
- ・K市の太陽光発電：9万円補助
- ・住宅エコポイント：9万6千円相当補助

ご家庭のCO2排出量が他のご家庭と比べてどの程度かわかります

- ・Aさんは普段の光熱費や家電の使い方、車の利用回数等を簡単にアンケートで答えました。すると…
- ・Aさんの家庭では、年間で**約30万円**かかっている、同じような構成の世帯の中では100世帯中**63位**とわかりました。
- ・我が家の光熱費が思ったよりも高く、Aさんはびっくり。

ご家庭の状況に応じた効果的な削減対策を提案します

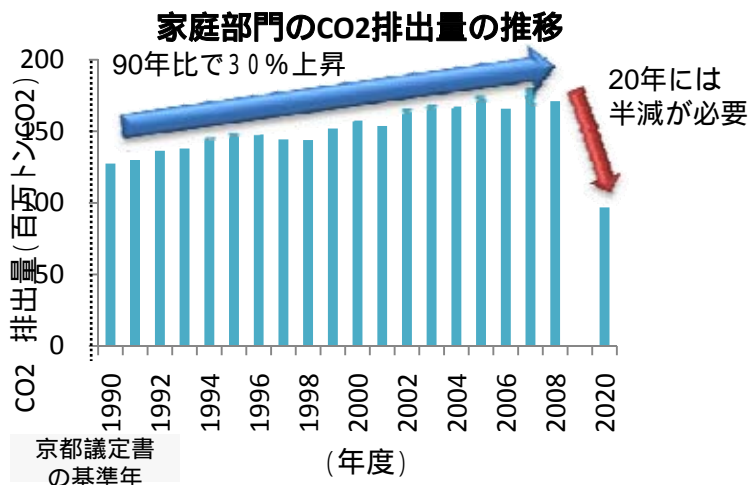
- ・エコにも財布にも優しくなろうと思ったAさん。用途ごとにたくさん示されたメニューを見ながら、環境コンシェルジュが細やかな相談に応じます。
- ・Aさんの家庭では、太陽光発電、最寄り駅までの徒歩・自転車通勤、全居室への内窓設置、エコドライブ、節水シャワーヘッド等を行うのが効果的だとわかりました。
- ・この対策を全て行くと、光熱費では年間**約19万円**(CO2では**約50%**)削減されることになります。

CO2削減対策のための政府からの支援策を提示します

- ・取組を宣言したAさんに、環境コンシェルジュから、その対策に利用できる支援メニューのセットをつくってくれます。
- ・例えば、Aさんの場合、太陽光発電補助と住宅エコポイント等の支援が受けられ、全部で**約40万円**になります。

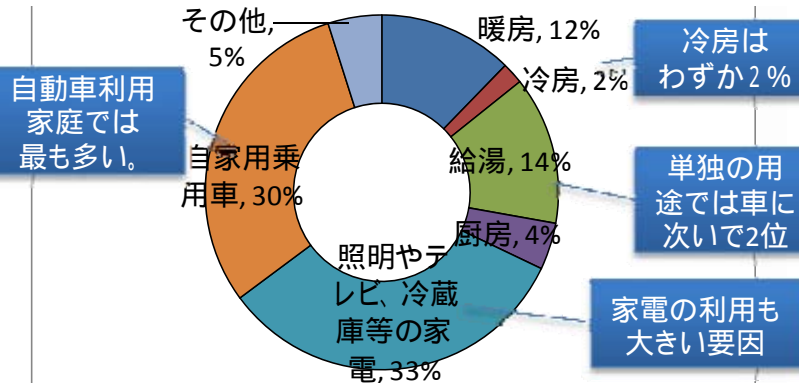
なぜ環境コンシェルジュが必要なの？

家庭からの温室効果ガス排出量は大幅な削減が必要です。



家庭の排出量の大きい用途を中心に効果的に削減する必要があります。

2008年世帯当たりCO2用途別排出割合(用途別)



出典) 国立環境研究所のデータをもとに作成

我が家でも取り組みたいけど何をしたらいいの??

環境コンシェルジュにお任せください。
各家庭の温室効果ガスの排出状況を診断し、具体的な取組をアドバイスします。

エコにも家計にもプラスになる対策をご提案します。

- ・買換時に環境対応車を選びます。
- ・日々の運転でエコドライブを実行します。
- ・給湯器を高効率なものに交換します。
- ・節水シャワーを利用します。
- ・省エネ家電(冷蔵庫、エアコン等)への買換をします。

国や自治体の補助などお得な仕組みを組み合わせてご提示します。

- ・家電エコポイント
- ・住宅エコポイント
- ・エコリース、融資
- ・税制優遇
- ・太陽光発電の補助金 等

環境コンシェルジュ事業 (家庭低炭素化診断 & 情報提供サービス) 概要

・「環境コンシェルジュ」が、家庭内のCO2排出量の見える化により、「気づき」から「アクション」へ結びつけ、家庭でのCO2排出削減行動の定着、加速を進めます。具体的には、環境コンシェルジュが、各家庭の状況に応じて何をすれば効果的か、それを行うためにどんな支援メニューがあるかを事細かにアドバイスします。

温暖化対策に関心もあり、何か取り組みたい！
けど何をすれば良いのかわからないし、
思ったほどの効果が出ないことも・・・。
我が家にとっての効果的な取組が知りたい！

環境コンシェルジュ事業の直接効果

- ・約2.8万トンのCO2削減
- ・約220億円の経済効果(省CO2機器買替・導入喚起)
- ・約1万人日の雇用効果

